



これからの子ども達の未来のために



昨年、保育士のキャリアアップとして開催されている研修の一つで「保護者支援、保護者対応」について学んできました。なぜこの研修を学ぼうと思ったかと言うと、日頃から子育てとお仕事の両立をしている保護者に少しでも力になればと考えたからです。

私が保育士をしていて、保護者によく言われている言葉は、「先生達は、いつもたくさんの子ども達を相手にさすがですね。私は一人の子ども相手でも大変なのに…」

この言葉を聞いたたびに、私は「いえいえ保護者の方はもっとすごい！！仕事と育児を両立して、さすが…親!! 皆さんには到底かなわない」と感じていました。

仕事が終わったから今日は終わり、ではなく、保育園のお迎えをして就寝の時間まで、夕食、お風呂など時間との戦い…そしてまた翌日が始まりますね。

昨年から今日に至るまでは、新型コロナウイルスの影響で、日頃の子育ての悩みだけでなく、不安感や閉塞感を感じることも、あるのではないのでしょうか？

忙しい毎日の中、皆さんは無意識のうちに強いストレスを感じていると思いますが、話を聞いてもらったり、相談出来る人や場所はありますか？

研修の中では、「昔は近所の大人や兄弟との関わりの中で子育てが行われていたが、核家族や一人っ子も増え、身近に子育てに関わる大人が少なくなっている」と言っていました。

だからこそ、園（保育士）は、保護者とお互いにサポートし合いながら、子ども達と一緒に育てていくパートナーになればと思っています。

ところで子育てをしていると、他の家庭や保護者の子どもへの関わり方が気になることは、ありませんか？ ついつい出来ないことにばかり目が向いてしまう…というような。

ただ、完璧な育児なんて、ないと思います。

たくさんの子どもがいるから、たくさんの関わり方があるのです。

私達保育士も同じで、保育の専門性は身につけて現場に立っていますが、完璧ではありません。

保育園は「子どもだけでなく保護者と子どもとの安定した関係を支えていく援助」も大切としています。

そのため、

- ① 保護者と協同による「子育ての力」の支援
- ② 保育士がよき理解者としての存在
- ③ 保護者の安全基地の場所とした機能を大切にしています。



園と保護者の皆さんが仲良くなれば、子どもにもたくさんの愛情を注げますね。

また、保護者の方が送迎の際ホッとできる場所になったり、話せる場所でもありたいと思います。

皆さんも一人で抱え込むことなく、これからの未来のためにも一緒に子どもを育てていきましょう！

今回の研修で学んできたことを、アウトプットすることで、さらに自分自身にも落とし込め、他の職員にも共有出来ると思い、6月の法人内研修で発表をしました。

若い職員が多いこともあり、法人（園）内研修・外部研修・講師を招いての研修などをおこない、日々研鑽しています。（宮本）

